

# OB会報

— 湘南高校サッカー部OB会 —

第8号

## 名門中学サッカー大会で活躍中

小林 忠生 (23回)  
(旧姓 早川)

戦前、戦中そして戦後の23年まで存在した旧制中学校(5年制)の蹴球界(嘗てはサッカーを蹴球と称していました)に勇名を轟かせた名門中学が、そこに在学したO・B(27年新制高校卒が最后旧制中学在学者)をメンバーとしてチームを編成し、年一度の大会を開催するようになり平成元年十一月二十三日(勤労感謝の日)には第六回を数えるまでに至りました。それより先、すでに活発に活動していたS・O・I(サッカーO・Bインターハイ)の略で旧制高校在学者の大会)に刺激され、それまで単発的に行われていた旧制中学同志の親善試合を年一回の大会に組織化したものです。S・O・Iの有力メンバーがそのまま旧制中学大会の主役でもあります。因みに出場チームは、広島連合(広島一中、広島高師付属中学)、神戸一中、湘南中、そして東京の五中、八中、東京高師付属中学の六チームです。我が湘南中学は戦前戦中に関東に覇を唱えるに止まらず幾度か甲子園(全国大会々場)にも駒を進め、ついに戦后初の第一回国体(於大阪)で優勝

し日本一の座についた球歴を誇り、名門中学大会に於ても有力チームであることを自他共に許しております。しかし、大会の最初の頃は集まるメンバーも少なくさしたる戦績を挙げることが出来ませんでした。桑田さん(22年卒、国体優勝チーム・メンバー)が世話役になられてからはその汚名を挽回すべく献身的な努力によって連絡網も整備され、その熱心な勧誘に集まるメンバーも増え大会前には練習試合まで出来るようになりました。そして湘南が幹事校であった第四回大会には念願の優勝を上げ、全員で久し振りに勝利の美酒の杯をあげることが出来ました。今年も優勝は逸しましたが、予選リーグで対戦した神戸一中(今年の優勝チーム)に2点をリードされたが後半に追い上げ、終了間際に同点として引き分け留飲をさげることが出来ました。

大会に参集されるO・Bの中には地方からは参集する方もあり少しでも多くの方々に出場して頂きたいし、ゲームに勝つためには若い人中心のメンバーを編成したいし、世話役の最も気を使うところ

です。今後共新しいメンバーが補充される訳ではなく、年々確実にチームの平均年齢は一才づつあがって行きますので戦力を維持するには相当の努力を要しますが、最若年(と云ってもすでに55才オーバー)の27年卒組が多勢おり、かつ熱心なのが心強い限りです。

試合に勝てればそれにこしたことはありませんが、毎年々々かつて共にボールを蹴った仲間が敵味方を問わずグラウンドに集い汗を流して旧交を暖めるのは全員にとつて大変楽しい年中行事となっております。

今年の参加者は左記の通り25名です。

- |         |          |
|---------|----------|
| 松村(5回)  | 常盤(6回)   |
| 内田(15回) | 戸沢(16回)  |
| 早川(18回) | 八星(20回)  |
| 磯崎(20回) | 松本(20回)  |
| 早川(21回) | 桑田(22回)  |
| 松浦(22回) | 矢住(22回)  |
| 小林(23回) | 小田島(24回) |
| (旧早川)   | 川島(25回)  |
| 香川(25回) | 斉藤(25回)  |
| 近藤(26回) | 酒井(26回)  |
| 加藤(27回) | 栗原(27回)  |
| 田川(27回) | 柳川(27回)  |
| 山本(27回) | 木原(27回)  |



# 湘南ペガサスサッカークラブ報告

田川 明 (27回)

岩渕大先輩の応援を頂き、クラブを創設してから十年が過ぎました。

そこで最近の当クラブの活動報告を兼ねて問題点を挙げたいと思います。例年春のトーナメント大会は好成績ですが、リーグ後半になると勝星が少くなります。これは当クラブの会員構成に問題があります。四十雀リーグも年々参加チームが増え一・二部合わせて20チームになりました。当初は楽しむサッカーで勝負は二の次の感がありましたが、最近では若返りリーグ後半になると、激しい順位争いから怪我人も出るゲームが続出します。当クラブが秋になると成績が悪くなるのは動員力の点もあるのですが若手が少く、選手層の薄いことにあります。岩渕大先輩の遺訓「去る者は追わず、来る者は拒まず」をモットーにしていますから、構成メンバーも湘南卒業生に限らず、現在では栄光、浦高、修道高校OB等、門戸を拡げて湘南ペガサスの名に恥じない好成績を上げるように頑張っています。

近い将来には60才以上のシニア・チームもできると思っています。サッカー部以外でもボールの好きな人、大歓迎です。(中年以降の健康維持に、特に40代のOBの方どうぞ!) 第二の問題は練習グラウンドが無いために試合が練習と云った状態です。各チームのうち陸上自衛隊員の多

い綾瀬、通信学校OB主体の横須賀等は練習グラウンドに不自由しません。又、湘南以外では、鎌倉、小田原、栄光学園等何時でも母校のグラウンドの使える所は好成績を納めています。OB諸兄で一流企業に就職している方、御社のチームの練習相手に当クラブを呼んで下さい。(特に芝生のグラウンド、お願いします)

### 試合結果

春のトーナメント大会(県議長杯)

2/5 一回戦 湘南二一横濱OB

2/19 二回戦 湘南五二三茅ヶ崎

3/12 準決勝 湘南二〇神奈川 四十雀

3/19 決勝 湘南一〇綾瀬 四十雀

(延長戦) 四十雀

昭和63年度第一回大会に続き連続優勝です。

第六回郡市対抗四十雀サッカーリーグ戦

6/4 湘南一横須賀四十雀

7/9 一一綾瀬四十雀

7/23 四一相模原四十雀

7/30 四二茅ヶ崎四十雀

9/17 一一藤沢四十雀

10/15 〇二神奈川四十雀

11/12 〇二三横濱シニアサッカー

11/16 〇一川崎四十雀 クララ

得失点差で九チーム中七位 辛うじて

一部残留です。

JAL定期戦

4/15 湘南四一JAL機長チーム

小田原高校定期戦

4/12 湘南三三小田原

公式戦八勝四負二分 勝率 六割六分

## 湘南クラブ

### 平成元年度活動報告

田中 敦 (62回)

昨年度Ⅲ部で無失点全勝で今年度Ⅱ部に昇格し、この勢いでⅠ部昇格をねらい気合い十分でリーグにのぞんだ我が湘南クラブ、第一戦5月28日対藤沢FC戦を楽々4-0と好調のすべり出し、第二戦6月25日対湘洋クラブ戦も1点失点はしたものの4-1と勢い衰えず、ところが第三戦不覚の敗退7月16日対七里ヶ浜OB 2-4、続く第4戦7月23日対オイレ工業戦、このチームは、去年我がチームメンバー足りずの9人で5-0としたチーム、楽勝とのぞんだものの、向こうは、去年の屈辱とばかりに異常に気合が入っており、気合い負けの3-4。ここで完全にⅠ部昇格の可能性はなくなったものの、その後は、10月22日対B.M.G戦4-0、最終戦11月26日対タクティクス戦2-0としました。このタクティクスが5勝1敗でⅠ部昇格、このチームは秋に行われた藤沢市民大会で2位となり県大会に出場したチーム。湘南の意地をみ

せ、黒星を与えました。今年度も例年にもれずメンバー集めに苦労し、社会人になっていたのが現状でした。来年度は全国大会のメンバーも加わると思うので、必ずⅠ部入りを果たしたいと思っています。

○ 藤沢FC 4対0  
○ 湘洋クラブ 4対1  
× 七里ヶ浜OB 2対4  
× オイレ工業 3対4  
○ B.M.G 4対0  
○ タクティクス 2対0

## 現役報告

88、89キャプテン

結城 亮 太

今振り返ってみると、今年度湘南サッカー部はたいへん素晴らしい成績を残すことが出来ました。

正月の全国大会に出場したことです。県予選の準々決勝で、優勝候補の藤沢西を苦戦の末、1-0で下し、準決勝で鎌倉を決勝で県相模原を破り、みごと23年ぶり6度目の出場を果たすことが出来ました。本大会では、1回戦、奈良県代表上牧とあたり、湘南ベースですすめながらも、1-1でPK戦にもつれ込み、辛くも勝つことが出来ました。2回戦の愛知県代表愛知との試合では、湘南の持ち味を十分に発揮することが出来、2-0で快勝しました。3回戦の相手、岩手県

代表盛岡商は、技術・体力・スピードの優れたチームであり、湘南も力を出し切りましたが、残念ながら0-3の完敗に終わりました。ここまでこれたのも、鈴木先生、藤塚先生の熱心な指導のもとに浪人覚悟でサッカーを続けた3年生8人の熱意と努力の成果でありました。今、先輩達は受験へ向けて頑張っていますが3月には優勝した時と同じ素晴らしい笑顔を見せてくれることでしょう。1月末の新人戦、4月の関東大会予選は、不本意ながらベスト16で敗れてしまいました。高校総体予選では、代表決定戦である準決勝まで勝ち進むことを期待されながらも、準々決勝で鎌倉に0-0でPK戦の末、惜しくも負けてしまいました。本当に残念でした。最後になりましたが、湘南サッカー部がここまでこれたのも、OBの方々の多大な御支援のおかげであると、部員一同深く感謝致しております。鈴木中先生はこの4月、荏田高校に転任されました。長い間、湘南のサッカー部のためご尽力下さったことに対し、厚くお礼申し上げます。



試合結果

夏休み強化研修会

7月22日	0対0	清水商
23日	0対0	日大藤沢
24日	0対2	茂原工
25日	0対1	市原緑
26日	3対0	日大明誠
1対0	1対0	愛知朝鮮
0対1	0対1	四日市工
1対1	1対1	岡崎城西

選手権大会県一次予選

8月9日	9対0	金沢
11日	5対0	西浜
12日	2対0	市ケ尾

(ブロック決勝)

市民大会

8月17日	3対0	長後
18日	3対0	藤嶺藤沢
9月4日	0対2	相工大附属

(決勝)

選手権大会県二次予選

9月25日	2対1	法政二高
11月3日	1対0	藤沢西
6日	3対0	鎌倉
13日	2対1	県相模原(決勝)

全国大会

1月2日	1対1	上牧(奈良)
PK	(7対6)	
3日	2対0	愛知
4日	0対3	盛岡商(右手)

Best 16

新人戦

1月15日	4対0	県川崎工
16日	1対0	淵野辺
21日	0対0	県相模原
PK	(0対3)	

フレンドリーマッチ

3月27日	1対2	常葉学園橘
28日	0対1	天理
29日	3対1	桐朋学園
30日	0対1	松本県ケ丘
31日	3対0	聖光学院
0対1	0対1	前橋育英
1対0	1対0	東京学館新潟
0対0	0対0	奈良育英

定期戦

4月2日	2対1	筑波大附属高
------	-----	--------

関東大会二次予選

4月9日	1対0	山北
16日	1対0	荏田
22日	0対1	向上

総体予選

5月4日	0対0	瀬谷
延長	1対1	
PK	9対8	
7日	3対0	鎌倉学園

定期戦

5月10日	2対0	浦和
-------	-----	----

総体予選

5月14日	3対0	座間
21日	1対0	川崎北
28日	0対0	大清水
PK	4対1	
6月18日	0対0	鎌倉
PK	2対4	



＊蹴球祭・総会のお知らせ＊

多数の御参加を！

1月15日(祝)於湘南高校

10:30 ~ 16:30

第1部 10:30~11:15

総会(大教室)

第2部 11:30~16:30

試合(グラウンド)

- 当日、現役は他校での新人戦の県大会トーナメントに出場しています。
- 総会を最初に行ないます。会長・事務局長挨拶の他、話し合う予定です。
- グラウンドの試合では、旧制中学OB・50代40代の年代別紅白戦など色々楽しみたいと考えております。お誘い合せの上多数ご参加下さい。

《お願い》

■2年度会費納入の件

元年度は皆様のご協力ありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

- ・社会人 5,000円
- ・学生 3,000円

蹴球祭当日、受け付けを致しますが、ご欠席の方は、お手数ですが同封の振替用紙にてお振り込み下さるようお願い申し上げます。尚、下記銀行口座も従来通りでございますのでご利用下さい。

横浜銀行 本店 普通預金  
口座番号 019166  
湘南高校サッカー部OB会  
安保隆文 TEL 0467-22-1794

■住所変更等の連絡先

住所変更等がございましたら下記のOB会事務局までご連絡下さい。

〒241 藤沢市鶴沼神明5の6  
県立湘南高等学校内  
サッカー部OB会 藤塚久雄  
TEL 0466-26-4151

事務局だより

(記念誌発行について)

平成元年度OB会総会において討議された全国大会出場壮行会会計の残金の使途について一案として「湘南サッカーの記録」が出され賛同が得られました。

事務局としてこのことに対応すべく植松君(41回)を中心として記念誌作製の作業が始められました。壮行会会計の中より20万円を基金に残し寄付を募るという予算の元、作ると決めた以上前回OB会記念誌「湘南サッカー半世紀を経て」に続くものに相当するレベルの本をというコンセプトで仕事が進みました。事務局を中心に関君(48回)沢田君(50回)らの協力もありOB諸兄の貴重な資料、原稿に助けられての作業も半年を経て九月「湘南サッカー実戦譜」として発行の日を迎えることが出来た次第です。

ここに本誌を発表・配布すると同時に今後更なるOB会として湘南サッカーの歴史が次の世代に継承され、発展することを期して記念誌発行の報告とさせていただきます。

追伸 紹介致しました本は旧制以上のOBには全員、その他は注文のあったOBには送らせていただきました。

問い合わせ  
・安保0467(22)1794  
・相羽045(893)4824

今後共、OB会にご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成元年度会計報告

収 入		支 出	
会費寄付	968,000	1月総会	150,000
繰越金	131,601	現役へ	400,000
利子	3,968	遠征補助	60,000
		9月総会	70,000
		通信事務費	25,488
		記念誌補助	55,000
		記念品代	50,000
		計	1,039,882
		通帳残	63,687
計	1,103,569	計	1,103,569

平成元年度特別会計報告

収 入		支 出	
壮行会会計	200,000	印刷・製本	800,000
より		デザイン	15,000
寄付	265,000	会議費	20,000
OB会より	55,000		
計	520,000	計	835,000

# 旧制中学サッカーOB会員 近況報告

桑田 孝 (22回)

旧制中学OB会の世話人をしているの

で、皆様の近況を知る機会が多い。今年も第6回の旧制中学名門サッカー大会の案内を出したところ、多くの方からご返事を頂いた。試合のことは小林忠生君(23回)が書いてくれることになったので、私は湘南サッカーの大恩人浅沼先生(4回)と、湘南がS21年全国優勝した時の監督だった大埜さん(15回)の他、2・3の方のご返事を紹介させて頂き会員の近況をお知らせすることにします。旧制中学卒という若くてももう55才です。世話人として皆様が何時までも元気でボールを蹴ることが出来るよう願っています。

浅沼先生 (4回)

湘中のOB会のため常に尽力して下さる事有難いと思っています。

さて今回のお誘いは身体の具合で不参として頂きます。身体の方は以前からの腎不全が進みましたので、現在は人工透析をしています。週三回、一回は正味4時間も弱っていますが寝てはいません。皆様に宜しく。

大埜 正雄 さん (15回)

前略 いつもご連絡をいただき有難うございます。ご返事もせず誠に申し訳ありません。お元気で何よりです。私もまあまあ元気ですが、余り言えることではありませんが心臓の血管三本のうち一本、右の冠状動脈がつままっているとのこと(つまってしまっていると他の血管で取り替えるわけにいかないようです)薬のみ食事に関心をつけて月に一回診察をうけ気をつけております。日常生活には支障ないので、四月からは、一寸離れているのですが岩槻工業団地内の企業に気楽に勤めています。週に一回小学生と一緒に字のけいこをしたり、市の農園を借りて、ちょっぴり野菜をつくったりしています。此の前の日曜から水彩画教室に入って練習を始めました。恐れても軽視してもいけないのですが、よく歩いております。診察で大宮に出る以外東京にも出ず慎重にやっています。暫く休業です。今度も参りませんがそのうち出かけます。ご奮闘を祈ります。皆様によろしく。

菅原 留意 さん (17回)

前略 ご無沙汰申しわけない。もっとも9月の総会には顔を出したが貴兄も安

保さんも(彼のクラス0)欠で会えず残念でした。残念ついでで申しわけないが、今度は欠になります。右アキレス腱もさることながら、11月のこの時期、毎年NHK放映の「ニットのニッポンcup」があり副会長、実行委員長やらされているのでゴメン。健闘を祈る。

追、11月10日県体協が50周年記念で小学生を功労者で表彰してくれるそうだ。サッカーでなくヨットで(当りませ)諸兄によろしく。

原田 徳夫 さん (23回)

すっかりご無沙汰致し申しわけございません。いつもご案内をいただきありがとうございます。11月5日・23日両方とも社会教育関係の大会で予定が入っておりますので残念ですが欠席させていただきます。ただし、何とか都合をつけて、できれば一日は、出席させていただきたいと考えております。寒川というところは少年サッカーの盛んなところで、サッカーの町づくりをしようと考えておりますが、なかなかグラウンドまでは出られません。先輩の皆様にお会いしたいと思いつながら失礼しております。どうぞますますお元気で活躍下さい。

(他にも多くの方からご返事、近況を知らせて頂きました。全員の方のを紹介出来ないのが残念です。)



《旧制中学OBの皆様へのお知らせ》

今年の蹴球祭（1月15日）にも昨年に引続き慶応OBを招待致しますので多数の方々のご参加をお願いします。

試合時間 12:30 ~ 13:30

幹事 桑田 孝（22回） TEL 0467-22-5757

《若手OBの皆様へ》

会報を読んでもわかりますように、旧制中学OB、湘南ベガサスの先輩がたは活発にサッカー活動を続けております。

われら若手OBも先輩がたに負けずにサッカーを続けていきましょう。

蹴球祭には各代お誘い合わせの上、多数のご参加をお願いいたします。

OB会事務局

